

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	第1四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	64.0	—	—
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	214	151	—
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	962	0	—
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	40,608	4,838	—
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	1	0	—
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	63.4	63.8	+0.7
	②下水道整備率	%	82.0	84.0	82.0	—
	③地籍調査進捗率	%	19.0	21.3	20.5	+1.5
政策5	①町公式 SNS の年間「いいね!」数	人	109	120	9	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①益子西小(44名)、益子小(46名)、七井小(61名)の6年生合計151名がふるさと教育の一環で小宅古墳群を訪れ、歴史を学んだ。</p> <p>②令和2年度下半期分のましこ世間遺産案内看板6件分を製作中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定の祭りやお囃子団体に対する維持保存のための交付金を交付した。(27件) ・第1回ましこ検定実行委員会を実施し、昨年度の結果の確認と今年度の事業について検討した。 <p>2 ①かさましこ日本遺産活性化協議会総会を実施した。29名が参加し、今年度の事業について協議した。文化庁からの補助金が令和2年度から令和4年度までの3年間交付されるので、持続可能な事業（文化芸術振興と文化資源活用の事業）にするため工夫と努力をしていくことが確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸メッセとましこ参考館の入場者は、今期は4,838人だった。 <p>3 ①図書館基本計画策定委員会を3回実施した。また、ワークショップを2回実施した。(4/17、6/5)・先進地の視察を策定委員会で2回実施した。(4/15、6/29)</p> <p>①ランドスケープ計画の整備を進めるにあたり、地域代表者等による推進委員会の設置及び計画実施可能な地区との調整に着手した。</p> <p>4 ①町道18号七井大平線の拡幅工事に伴う用地買収等及び百目鬼橋設計業務は計画通りに進捗しており、早期に工事発注ができるよう引続き取組んでいく。</p> <p>②下水道築造事業の繰越事業は概ね完了した。下水処理場整備事業の汚泥処理棟増設に関する日本下水道事業団との基本協定締結が完了した。</p> <p>③地籍調査は各地区とも、概ね計画通りに進捗している。</p> <p>5 ①町の事業の周知を図るため、各課に対して町公式フェイスブックへの投稿を依頼し、昨年度よりも多い47件の投稿があった。</p>	<p>1 ①小宅古墳群その他の文化財を町内小学生に紹介することにより、今後も益子の歴史や文化について学ばせ、益子に誇りをもつ人を育てる。</p> <p>①ましこ世間遺産(57件の認定)は、今後、マップの作成と各学校へ配布、パネル展示などにより周知する。また、その魅力を町内外に発信し来訪者を増やす世間遺産の活用をしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般のましこ検定受検者数を増やす方を検討していく。 <p>2 ①今年度実施する事業は、○人財育成事業（日本遺産のガイド・コーディネーター育成、着地型旅行商品開発）、○普及啓発事業（シンポジウム、日本遺産関連商品開発、ラーニングパッケージ推進、文化財公開）、○情報コンテンツ作成事業（プロモーション動画制作、動画制作と番組放送、子ども版ストーリーブック制作など）が決定された。今後、各事業の進め方を笠間市と検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の文化財訪問者数については、QRコードの読み取り数でカウントする。現在整備中。 <p>3 ①今後も、町民の意見を参考にしながら、図書館基本計画を作成する。</p> <p>①ランドスケープ計画の推進委員会を設置し、関係者と協議しながら計画実施可能な地区との調整を進めていく。</p> <p>4 ①安心安全な道路整備の取組の中でも、特に通学路の整備については、重要事業として取組んでいく。町道155号参考館線と町道170号線パイパス整備事業も着実に進めていく。</p> <p>②日本下水道事業団との協定に基づき、定期的な工程会議を通じて工事発注など進捗管理を行っていく。</p> <p>③公図と現況の不整合箇所解消に努め、各地区の事業を計画通りに進めていく。</p> <p>5 ①フェイスブックのカバー写真変更や各課の投稿が「いいね!」の数に十分に反映されていないことから、引続き各課へ投稿を依頼していく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる		第2四半期			
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	64.0	—	—
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	214	238	—
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	962	0	—
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	40,608	7,999	—
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	1	0	—
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	63.4	63.8	+0.7
	②下水道整備率	%	82.0	84.0	82.6	+0.6
	③地籍調査進捗率	%	19.0	21.3	20.5	+1.5
政策5	①町公式 SNS の年間「いいね!」数	人	109	120		—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①田野小6年生38名が校外学習で小宅古墳群を訪れ歴史を学んだ。田野小5年生49名が総合的な学習の時間に「田野・山本地区の文化遺産について理解する」をテーマに世間遺産を学んだ。</p> <p>2 ①かさましこ日本遺産ワーキンググループ会議を開催した。7/30の文化振興グループは12名の参加、8/3の観光振興グループは17名の参加であった。</p> <p>①日本遺産事業プロポーザル審査を実施した。「ガイド・コーディネーター育成講習会」を9/27に、「着地型旅行商品開発とラーニングバケーション」を9/28に実施した。</p> <p>3 ①図書館講演会・交流会を7/10に実施し、基本計画策定委員会を8/27に実施した。策定委員会では、図書館機能以外の機能について、各委員から様々なご意見が出された。</p> <p>①ランドスケープ計画推進委員会の立上げに向けて、学識経験者・地域代表者・公募からなる委員9人を選任した。役場周辺土地区画整理事業では、委託業者と仮換地案の作成に取組み、組合員に対する説明会の準備を行った。</p> <p>4 ①町道18号七井大平線の用地買収等は全て完了し、予定通り工事発注を行った。町道155号参考館線についても、関係者に対する事業説明を予定通り実施した。また、町道170号バイパス整備事業の設計業務が完了した。</p> <p>②公共下水道の受益者負担金賦課区域(塙、星の宮、道祖土)の告示及び供用開始の告示を予定通り実施した。今年度の下水道築造工事の発注は全て完了した。また、下水道処理場の沈砂池ポンプ棟の詳細設計が完了した。</p> <p>③地籍調査事業は各地区とも、概ね計画通りに進捗している。</p> <p>5 ①町ホームページのリニューアルのため、不要ページの洗い出しを行った結果、226ページを削減した。町公式フェイスブックへの各課の投稿は73件となった。</p>	<p>1 ①小宅古墳群に代表されるが、今後もふるさと教育の充実につなげていき、地域に誇りと愛着を持つ子どもの育成に努めていく。</p> <p>2 ①文化振興グループでは、ガイド等育成事業の募集の際に益子芳星高校の生徒にも声をかけるようにする。</p> <p>観光振興グループでは、「着地型旅行商品開発」において文化振興グループの委員と連携を図ることと、「プロモーション動画製作」については、文化面だけでなく観光分野にも力点を置くよう委託業者と打ち合わせしていくことにする。</p> <p>①「ガイド・コーディネーター等育成講習会」はJTB宇都宮支店に、「着地型旅行商品開発」「ラーニングバケーション」は近畿日本ツーリストにそれぞれ業務委託することになった。</p> <p>3 ①今後、基本計画策定委員会の意見を受け、優先順位をつけていくことにより計画のまとめにつなげていく。</p> <p>①ランドスケープ計画推進委員会を設置し、関係者と協議しながら計画実施可能な地区との調整を進めていく。役場周辺土地区画整理事業では、仮換地案を10月に組合員へ提示し、意見等を聴取しながら未同意者への対応を更に進めていく。</p> <p>4 ①安心安全な道路整備の取組の中でも、特に通学路の整備については、重要事業として取組んでいく。各路線の整備事業を確実に進めていくために、今後も国や県に対して補助金の要望を継続して行っていく。</p> <p>②下水道築造事業及び下水処理場整備事業については、工事を計画通りに遂行していくために、工程管理をしっかりと行っていく。また、公営企業会計移行事業については、事業者が決定したことから、計画に沿って事業を進めていく。</p> <p>③1年目の事業地区(前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ)については、10月末から一筆地調査を実施する。</p> <p>5 ①町公式フェイスブックへの各課の投稿が「いいね!」の増加に十分に反映されていないことから、各課へ引続き投稿を依頼していく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第3四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	64.0	—	—
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	214	238	—
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	962	0	—
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	40,608	18,103	—
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	1	0	—
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	63.4	63.8	+0.7
	②下水道整備率	%	82.0	84.0	82.6	+0.6
	③地籍調査進捗率	%	19.0	21.3	20.5	+1.5
政策5	①町公式 SNS の年間「いいね!」数	人	109	120	24	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①今期は、小中高校生による歴史講座等の実施予定がなかった。</p> <p>2 ①10/23・24(益子)及び 10/30・31(笠間市)でそれぞれ「かさましこ日本遺産文化財公開」を行った。益子町6カ所には、延べ986名(実人数286名)の訪問者があった。(西明寺・円通寺・地藏院・光明寺・松本公民館・中央公民館)</p> <p>②11/27に日本遺産「第1回ガイド・コーディネーター育成講習会」を実施した。12/4に第2回目、12/18に第3回目を実施した。第1回目は、笠間市と益子町から合計42名の参加があった。</p> <p>②「かさましこ構成文化財」所有者との意見交換会を実施した(10/8、13名参加)。</p> <p>3 ①10/5に図書館基本計画策定委員会を実施した。策定委員会では、図書館機能以外の機能を含め、基本計画の内容について、各委員で意見交換した。</p> <p>①学識経験者・地域代表者・公募者を委員としたランドスケープ計画推進委員会を上げると共に、小宅地区・益子地区・田野地区でそれぞれワークショップを開催した。役場周辺土地区画整理事業では、組合員へ仮換地案を提示すると共に、要望調査を行った。また、空家等対策計画策定に向けてパブリックコメントを実施した。</p> <p>4 ①町道18号七井大平線の通学路整備事業及び百目鬼橋と徒士橋の橋梁補修事業の工事はほぼ順調に進んでいる。町道170号線バイパス整備事業では、関係者への設計説明が完了した。</p> <p>②下水道築造事業と下水処理場の汚泥処理棟増設工事は、毎月の工程会議に於いて工程管理をしているが、コト禍で一部資材の納期が未定となっていることなどから、繰越となる見通しである。</p> <p>③地籍調査事業は、各地区とも概ね計画通りに進捗している。</p> <p>5 ①町ホームページリニューアルのためホームページ上で閲覧者へのアンケートを実施し、結果をホームページ上で公表すると共に、ホームページのリニューアルイメージを作成した。また、町公式フェイスブックへの各課の投稿は、前四半期対比64件プラスの137件となった。</p>	<p>1 ①今後もふるさと教育の充実により、益子に誇りと愛着を持つ子どもの育成に努めていく。</p> <p>2 ①6カ所の文化財に一人ずつ益子芳星高校の生徒がボランティアで案内役を務めてくれた。県外からの訪問者も140名(内笠間市54名)、学生以下は18名であり、笠間市や益子芳星高校との今後の連携につながることを期待できる。</p> <p>②「ガイド・コーディネーター育成講習会」は1月16日までの合計4回の講習により、日本遺産構成文化財のガイドやコーディネートができるように進めていく。</p> <p>②構成文化財所有者意見交換会で、活性化協議会委員を交えた会議の開催依頼と地元業者が一部請負をできるか検討してほしいと要望があった。</p> <p>3 ①今後、基本計画策定委員会の意見を受けて、基本計画(案)を作成し、パブリックコメントを実施して完成させていく。</p> <p>①ランドスケープ計画では、推進委員会での協議を踏まえて、実施可能な地区との調整を進めていくと共に、計画の理解促進を図るため引続きワークショップ等を開催していく。役場周辺土地区画整理事業では、仮換地案に対する要望を踏まえて調整を行っていく。空家等対策計画ではパブリックコメントを踏まえて年度内に策定出来るよう進めていく。</p> <p>4 ①町道155号参考館線の通学路整備事業は、国庫補助金を活用し令和4年度に設計業務の発注を予定している。また、百目鬼橋と徒士橋の補修事業は年度内の完了を目指していく。</p> <p>②特別会計の公営企業会計移行事業は、仕様書に基づき計画通りに進めていく。また、下水道周知促進事業の新たなデザインマンホールの制作については、年度内に契約締結し事業を進めていく。</p> <p>③前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区は一筆調査(10~12月)で設置した境界杭を測量し、地籍図原図を作成する。山本Ⅲ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区は閲覧(1~2月)後、地籍図と地籍簿を仕上げしていく。</p> <p>5 ①町公式フェイスブックへの各課の投稿数は増加しているが、「いいね!」を獲得するには至っていないことから、各課へ引き続き投稿を依頼すると共に、要因を分析していく。</p>

基礎目標	地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	第4四半期
------	----------------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	住みやすい住環境とを感じる割合	%	—	64.0	—	—
政策1	①歴史講座等の参加者数（小～高）	人	189	214	244	+55
	②祭りの参加者数（祭礼参加者数）	人	937	962	0	▲937
政策2	①構成文化財の訪問者数	人	39,508	40,608	20,524	▲18,984
政策3	①ランドスケープ計画を手掛ける地区	地区	0	1	1	+1
政策4	①重要通学路の安全な道路の整備率	%	63.1	63.4	65.0	+1.2
	②下水道整備率	%	82	84.0	82.6	+0.6
	③地籍調査進捗率	%	19	21.3	22.1	+0.8
政策5	①町公式 SNS の年間「いいね!」数	人	109	120	22	—

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①今期は、小中高校生による歴史講座等の実施がなかったが、年間の参加者数は達成できた。</p> <p>2 ①ましこ検定を実施した。一般の部は計10名、中学1年生は3校合計174名の受験であった。合格者は一般が7名(70%)、中学生は93名(53.4%)であった。 ②日本遺産「最終回のガイド・コーディネーター育成講習会(1/15・16)」を実施した。益子町20名、笠間市15名の合計35名が最終回に参加した。 ③日本遺産関連商品開発促進業務全体講座と個別相談を実施し、試作品を完成させ、3/17に試作品のお披露目会を行った。(10組の作品披露)</p> <p>3 ①図書館基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施し、9人の方から30件のご意見をいただいた。 ②ランドスケープ計画は、大羽の雨巻山大川戸登山口の整備に着手することとした。また、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策計画を3月に策定した。また、景観保全のため小宅地区において令和4年度から環境保全会を立ち上げることで合意が図られた。</p> <p>4 ①町道18号七井大平線の通学路整備事業は、支障電柱の移転完了に時間を要したことから、当初予定の70%の進捗率となった。百目鬼橋と徒士橋の補修工事については、どちらも予定通り完成した。 ②下水道築造事業の一部工事と下水処理場汚泥処理棟増設土工事が、資材の納入遅延等により繰越となった。公営企業会計移行事業については、予定通り進捗している。 ③山本Ⅻ地区の認証請求書を国に提出すると共に、既に提出済みの山本Ⅹ地区とⅪ地区の認証が完了した。その他の地区についても、計画通りに進捗している。</p> <p>5 ①町公式フェイスブックへの投稿について各課に継続して投稿を依頼したが、前四半期対比52件減の85件となった。</p>	<p>1 ①次年度も小・中・高校生にふるさと学習の一環として、町の文化財や益子世間遺産等を訪れる機会を設けて、町を理解し誇りをもたせたい。</p> <p>2 ①ましこ検定は一般の受験者が減少しており、実施時間帯などの工夫が必要である。中学生には自信が持てるよう事前学習を支援する。 ②ガイド・コーディネーター育成講習会の最終回では、各自の紹介したい場所について実際に案内ガイドを行った。今後の実践に繋げたい。 ③日本遺産関連商品開発では、試作品の製作を行い、笠間と益子のコラボ商品など10組が紹介され、本格商品化に向けて次年度につないだ。</p> <p>3 ①図書館基本計画に対する様々な参考になる意見があり、今後の建設に向けては、さらに検討をしていく必要がある。 ②雨巻山大川戸登山口の整備では、ワークショップ等を通して地域との相互理解のもと進めていく。また、空家等対策計画は空家等対策協議会と連携し、生活環境保全や空家等利活用に資するよう取組んでいく。小宅地区の環境保全会においては、小宅西・舟橋の両自治会の活動を支援していく。</p> <p>4 ①町道18号線については、繰越事業として令和4年6月の完成を目指していく。町道170号バイパス整備事業は、令和4年度から用地測量業務に着手していく。町道155号参考館線は、令和4年度に確保予定の補助金を活用して実施していく。 ②繰越となった下水道築造事業と下水処理場汚泥処理棟増設土工事については、今後速やかに完了となるよう取組んでいくと共に、整備完了した下水道については使用を開始していく。 ③国の認証を受けた山本Ⅹ地区とⅪ地区の登記手続きを進めていくと共に、山本ⅩⅢ地区・前沢Ⅰ地区・大沢Ⅰ地区について、認証請求手続きを進めていく。</p> <p>5 ①フェイスブックの「いいね!」の廃止が予定されていることから、今後のKPIの在り方について検討していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承			
施策	歴史や文化財の活用	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	歴史講座等の小・中・高校生の参加者数	本年度目標値	214	現状値	244	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会関係文化庁補助金実績報告書提出		①令和2年度益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会関係実績報告書文化庁へ提出(4/9)		
	5月	①文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備		①綱神社及び地藏院防災設備整備事業補助金(国費)交付申請書を国に提出(4/9)		
		②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図作成調査		④第1回ましこ検定実行委員会の開催(5/27、8名参加)		
	6月	④第1回ましこ検定実行委員会の開催(昨年度実施した、ましこ検定の結果報告・今年度の事業計画)		④益子西小6年生校外学習で小宅古墳群案内(5/25、44名参加)		
		④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		④広報ましこ5月号(日本遺産かさましこについて)⑤「西明寺及び木造弥勒仏立像」掲載		
	7月	④年間を通じた広報活動の実施(広報ましこへの掲載、文化財HPの更新)		①文化財保存事業費補助金(綱神社及び地藏院防災設備重点強化事業)(県費)交付申請書を県に提出(6/10)		
				④益子小6年生校外学習で小宅古墳群案内(6/25、46名参加)		
	8月			④七井小6年生校外学習で小宅古墳群案内(6/30、61名参加)		
				④広報ましこ6月号(日本遺産かさましこについて)⑥「久野陶園と根古屋窯」掲載		
	9月	①第1回益子町歴史文化基本構想推進委員会の開催		①益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会会計監査を実施(7/10)		
		①文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備		④田野小6年生校外学習で小宅古墳群案内(7/2、38名参加)		
	10月	②第1回益子町詳細遺跡分布地図作成委員会の開催		④田野小5年生総合的な学習の時間で「田野・山本地区の文化遺産について理解する」主に世間遺産の説明(7/7、49名参加)		
②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図作成調査		④広報ましこ8月号(日本遺産かさましこについて)⑦「鳳台院山門と陶祖顕彰碑」掲載				
11月	④第2回ましこ検定実行委員会の開催(募集チラシの検討)		①綱神社及び地藏院消火栓修理事業についてフケタ設計と打ち合わせ(9/10)			
	④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		②第1回詳細遺跡分布地図作成委員会は書面開催(新型コロナの影響)			
12月	④年間を通じた広報活動の実施(広報ましこへの掲載、文化財HPの更新)		④広報ましこ9月号(日本遺産かさましこについて)⑧「岩下製陶(太平窯)登窯と笠間焼発祥に係わる登窯」掲載			
			④第3回ましこ検定実行委員会の開催(10/21、6名参加)			
1月			④広報ましこ10月号(日本遺産かさましこについて)⑨「汽車土瓶と笠間焼初期作品・海鼠釉流掛茶壺と黒釉捏鉢」掲載			
			④広報ましこ11月号(日本遺産かさましこについて)⑩「山水土瓶と唐本一切経」掲載			
2月			④広報ましこ12月号(日本遺産かさましこ文化財公開事業実施報告について)掲載			
			④広報ましこ1月号(日本遺産かさましこについて)⑪「濱田庄司作品(益子焼)と松井康成作品(笠間焼)」掲載			
3月	①文化財修理補助金関係事務の遂行、文化財周辺環境の整備		④第4回ましこ検定実行委員会開催(2/4、6名参加)			
	②埋蔵文化財の詳細遺跡分布地図作成調査		④ましこ検定(一般の部)開催(2/26、10名受検)			
3月	④第4回ましこ検定実行委員会の開催(最終調整)、ましこ検定の実施		④ましこ検定(益子中)開催(2/28、92名受検)			
	④ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力		④広報ましこ2月号(日本遺産かさましこについて)⑫「日下田藍染工房と稲田神社」掲載			
		④年間を通じた広報活動の実施(広報ましこへの掲載、文化財HPの更新)		①綱神社及び地藏院消火栓修理事業完了検査(3/29)		
				②第2回詳細遺跡分布地図作成委員会開催(3/26、11名参加)		
				④ましこ検定(七井中)開催(3/11、50名受検)		
				④ましこ検定(田野中)開催(3/14、32名受検)		
				④広報ましこ3月号(日本遺産かさましこについて)⑬「島岡達三作品と田中友三郎彰徳碑」掲載		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①令和2年度益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会関係の実績報告書を文化庁に提出し、確定通知書が6月下旬に届いたため、7月上旬に会計監査を実施し、協議会の資料を作成する。</p> <p>①昨年度、綱神社及び地蔵院の防災設備整備事業補助金の要望を国に提出していたが、今年度要望がとおり、申請書を提出し、交付決定通知書が届いた。県補助に対しても同様。今後は所有者と綿密に連携をとりつつ、工事着工へつなげていく。</p> <p>④ましこ検定については、昨年度一般の受検者数は17名、合格者は13名という結果だった。受検者数が減ってきているため、増やしていくための方法を検討していく。また、中学生の受検者数は182名、合格者は65名という結果だった。もっと合格率を上げるための方法を検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①令和3年度益子町歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり協議会を書面議決にした結果、協議案件は委員全員からすべて承認されたので、令和3年度事業計画に基づき各事業を実施していく。</p> <p>①綱神社及び地蔵院消火栓修理事業について設計・監理業務を依頼する予定のフケタ設計と主に契約・設計内容について打ち合わせを行った。契約等書類上は所有者と直接行い、手続きは役場がサポートとして入ることを説明し、現地確認を行った。今後は業者・所有者と綿密に連携をとりつつ、工事着工へつなげていく。</p> <p>②第1回詳細遺跡分布地図作成委員会は新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため書面開催としたが、詳細遺跡分布地図作成スケジュールの確認や分布調査の進行状況・遂行上の課題や問題点等の意見を求めた。調査区と調査員の数の差の問題や土地の状況によって立ち入り禁止の場所があること、埋め立てや宅地化・荒地で遺物の確認が取れない箇所もあるので、その対応について遺跡の廃止や縮小について協議したほうがよいという意見があった。</p> <p>④小宅古墳群案内に代表されるが、ふるさと教育(社会科校外学習等)の協力を今後も継続していく。</p> <p>④広報ましこで「日本遺産かさましこ」についてシリーズ化し毎月掲載しているが、これからもHP等も活用しつつ、年間を通した広報活動を実施していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>④ましこ検定実行委員会では、検定のチラシ・上級試験問題の検討・中学生受検の実施について協議したが、特に異論は出ず、例年通りの開催でよいこととなった。</p> <p>④広報ましこで「日本遺産かさましこ」についてシリーズ化し毎月掲載しているが、今後もHP等も活用しつつ、年間を通した広報活動を実施していく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①綱神社及び地蔵院消火栓修理は完了検査を経て、国・県・町補助金の実績報告書提出に向けて準備を進めていく。</p> <p>②第2回詳細遺跡分布地図作成委員会では、今まで調査員が行った分布調査の整理を行い、未調査の部分や再調査が必要な遺跡の把握に努め、次年度の地図作成に向けて進めていく。</p> <p>④ましこ検定実行委員会では、ましこ検定(一般の部)での日程確認及び申し込み状況報告や中学生受検の試験日日程報告を行った。また、各試験問題の最終確認を行い、今回指摘された事項に修正を加え、試験問題とすることで同意を得た。</p> <p>ましこ検定(一般の部)は初級受検者4名うち合格者4名(合格率100%)、中級受検者3名うち合格者1名(合格率33.3%)、上級受検者3名うち合格者2名(合格率66.7%)という結果であった。平成28年度から開催しているが、受検者が減少傾向にあるため、受検者特典を設けるなどPR活動を積極的に行う必要がある。</p> <p>ましこ検定(中学生の部)は受検者174名うち合格者93名(合格率53.4%)であったが、各学校での取り組み方により合格率に差異が生じている。今年度から復習に活用してもらうよう各学校に解答書を渡すこととした。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・歴史や文化財、風土の活用と継承に多岐にわたる課題に取り組み、成果を収めている。 ・ましこ検定については、一般の受験者数を増やす工夫が検討されている。</p> <p>・今後も広報活動の実施や歴史講座又ましこ検定などを開催し、歴史や文化財の知識を深め地域の活性化を推進して下さい。</p>	<p>内部検証および外部検証結果を踏まえ、歴史や文化財を学べる環境を整え、郷土愛の醸成を図っていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	歴史や文化財、風土の活用と継承			
施策	風習の継承	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	祭りの参加者数(祭礼参加者数)	本年度目標値	962	現状値	0	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①第1回ましこ世間遺産実行委員会の開催(昨年度支給した環境整備費補助金の実績報告・今年度の事業計画)		①広報ましこ4月号(令和2年度下期分ましこ世間遺産認定結果)掲載 ①令和2年度下期分世間遺産案内看板製作中(6件分)		
	5月	①令和2年度下期分ましこ世間遺産認定結果の周知 ①令和2年度下期分ましこ世間遺産の案内看板製作・設置(同意を得た箇所)		①第1回ましこ世間遺産実行委員会の開催(5/27、8名)		
	6月	①環境整備費補助金事務の遂行 ③町指定の祭り・お囃子団体に交付金を交付する		①環境整備費補助金申請(6/30現在 3件) ③民俗芸能等維持保存交付金の交付(27件)		
	7月	①令和2年度下期分ましこ世間遺産の案内看板製作・設置(同意を得た箇所)		①環境整備費補助金申請(7月中 1件)		
	8月	①第2回ましこ世間遺産実行委員会の開催(世間遺産マップ・パネル展示の検討) ①環境整備費補助金事務の遂行		①令和2年度下期分ましこ世間遺産案内看板製作・設置完了(8/6) ①環境整備費補助金申請(8月中 3件)		
	9月			①世間遺産マップ・パネル案を各委員に配布・校正依頼 ①環境整備費補助金申請(9月中 1件)		
	10月			①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催(10/21、6名) ①環境整備費補助金申請(10月中 5件)		
	11月	①第3回ましこ世間遺産実行委員会の開催(世間遺産マップ・パネル展示の結果報告等) ①環境整備費補助金事務の遂行		①環境整備費補助金申請(11月中 3件)		
	12月			①環境整備費補助金申請(12月中 4件)		
	1月			①環境整備費補助金申請(1月中 6件)		
	2月	①第4回ましこ世間遺産実行委員会の開催(次年度以降の世間遺産活用の検討) ①環境整備費補助金事務の遂行		①第4回ましこ世間遺産実行委員会開催(2/4、6名参加) ①環境整備費補助金申請(2月中 1件)		
	3月			①環境整備費補助金申請(3月中 3件)		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産については、平成29年度から令和2年度までの4年間で最終的に57件の認定となった。認定事業については一区切りとし、今後はマップを作成し学校等に配布するほか、パネル展示など多くの方々に来訪していただけるよう活用へと移行していく。 また、環境整備費補助金も継続することで、認定者に今後も環境整備をしていただけるよう促していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①令和2年度下期分に認定されたましこ世間遺産案内看板の製作・設置が完了した。これで今まで認定されたましこ世間遺産のすべての案内看板が整備されたことになる。 ①世間遺産マップやパネルの案をましこ世間遺産実行委員会の委員の皆さんにご覧いただき、追加・修正、校正等を依頼した。完成した世間遺産マップやパネルは、かさましこ文化財公開に合わせて展示し、多くの方々に来訪していただけるよう促していく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①ましこ世間遺産実行委員会では、世間遺産に関するパネル展示等を10月23日(土)～11月20日(土)まで開催することを報告した。具体的な内容は、公民館ホールでパネル展示(地図マップ、世間遺産の看板見本設置等も併せて実施)、資料展示室で世間遺産に関する展示(十二天真言八祖絵図、汽車土瓶、綱神社太々神楽で使用のお面と鈴、倉見沢出土品(須恵器)等)、公民館玄関前にあるテレビで今まで認定された世間遺産の映像を流した。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①今年度は世間遺産マップ作成やパネル展示等を行った。次年度はましこ世間遺産実行委員会の皆さんの意見を踏まえ積極的にPR活動を行っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・祭りや風習についてはコロナ禍のなかで、中止や関係者での実施などが多かったと思います。ただ世間遺産の場所や建物は訪ねられる。そこでパネルやマップは見学意欲を高める手段となり、とてもありがたい。</p> <p>・今年度はコロナ禍の影響により、イベントの制限があったかと思います。来年度は具体的行動に移せるように推進して下さい。</p>	<p>ましこ世間遺産や、民俗芸能(祭礼等)の伝承・保全に努める地域(保存会)活動に対しての支援を継続していくほか、それらの資産を広報・周知を図っていきたいと考える。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	日本遺産を通じた地域活性化の推進			
施策	日本遺産の普及・啓発、周遊ルートなどの環境整備	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	構成文化財の訪問者数	本年度目標値	40,608	現状値	20,524	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①令和2年度日本遺産関係文化庁補助金実績報告書(文化芸術振興費補助金・文化資源活用事業費補助金)提出		①日本遺産関係補助金(文化芸術振興費補助金・文化資源活用事業費補助金)実績報告書文化庁へ提出(4/5) ①日本遺産関係補助金(文化芸術振興費補助金・文化資源活用事業費補助金)申請書県へ提出(4/16)		
	5月	①令和3年度日本遺産関係文化庁補助金申請書(文化芸術振興費補助金・文化資源活用事業費補助金)提出		①昨年度事業の精算業務		
	6月	①かさましこ日本遺産活性化協議会総会の開催(昨年度の事業報告及び収支決算・今年度の事業計画及び収支予算等)		①かさましこ日本遺産活性化協議会総会開催(6/24、29名参加)		
	7月			①第1回かさましこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(文化振興グループ)開催(7/30、12名参加) ①一般向けに文化財公開事業ボランティアスタッフ募集(7/27~8/20まで募集期間、22名希望者)		
	8月	①第1回かさましこ日本遺産活性化協議会ワーキンググループの開催(文化振興グループ・観光振興グループ) ①かさましこ日本遺産活性化協議会事業の実施(人材育成事業・普及啓発事業・情報コンテンツ作成事業)		①第1回かさましこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(観光振興グループ)開催(8/3、17名参加)		
	9月	③日本遺産かさましこセミナー・シンポジウムの開催		①ましこ未来大学へ「文化財公開事業ボランティアスタッフ募集」依頼(9/2、6名希望者) ①日本遺産記念切手贈呈式(9/13) ①日本遺産事業プロポーザル審査(ガイド・コーディネーター育成講習会)(9/27) ①日本遺産事業プロポーザル審査(着地型旅行商品開発、ラーニングパッケージ)(9/28)		
	10月			①日本遺産事業プロポーザル審査(ストーリーブック4社・プロモーション動画5社)(10/4) ①日本遺産推進に係る意見交換会(10/8、13名参加) ③かさましこ文化財公開事業(10/23~24)		
	11月	①第2回かさましこ日本遺産活性化協議会ワーキンググループの開催(文化振興グループ・観光振興グループ) ③かさましこ文化財公開事業の開催 ③日本遺産サミットin小松の参加		③日本遺産かさましこセミナー(11/6~7) ③日本遺産サミットin小松(11/13~14)		
	12月			①日本遺産事業プロポーザル審査(日本遺産関連商品開発促進業務)(12/13) ①第2回かさましこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(文化振興グループ)開催(12/15、11名参加) ①第2回かさましこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(観光振興グループ)開催(12/16、12名参加)		
	1月			①第2回かさましこ日本遺産活性化協議会開催(1/14、28名参加) ①日本遺産ガイド・コーディネーター育成講習会開催(1/15 益子町、20名参加 1/16笠間市、15名参加) ①日本遺産関連商品開発促進業務全体講座(1/19、12名参加)		
	2月	①第2回かさましこ日本遺産活性化協議会の開催(今年度の事業進捗状況・次年度の事業計画)		①日本遺産関連商品開発促進業務個別相談(2/3、9名参加 2/15、3名参加 2/25、9名参加)		
	3月			①日本遺産関連商品開発促進業務個別相談(3/9、8名参加) ①日本遺産関連商品開発促進業務試作品披露会(3/17、10組分作品披露) ①日本遺産推進講演会in笠間(3/20、約90名参加)		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①令和2年度日本遺産関係補助金(文化芸術振興費補助金・文化資源活用事業費補助金)実績報告書を文化庁へ提出し、それぞれ補助金が入金されたので、笠間市と益子町の負担割合を算出し、精算業務を行った。</p> <p>①令和3年度日本遺産関係補助金(文化芸術振興費補助金・文化資源活用事業費補助金)申請書を県経由で文化庁へ提出した。なお、前年度要望した金額より減額されて採択されたため、一部業務の見直しを行った。</p> <p>①今年度開催する事業は、人材育成事業として、日本遺産ガイド・コーディネーター育成事業・着地型旅行商品開発事業、普及啓発事業として、日本遺産推進シンポジウム等開催事業・日本遺産関連商品開発促進事業・ラーニングパッケージ推進事業・文化財公開事業・推奨店事業、情報コンテンツ作成事業として、プロモーション動画制作事業・ブランド力強化のための動画制作及び番組放送事業・子ども版ストーリーブック制作事業・デジタルサイネージ購入等・ノベルティ作成等を実施することが総会で決定した。今後、昨年度の事績を検証・課題を抽出し、開催決定した事業の在り方・進め方等を笠間市と検討していく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①第1回かさまこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(文化振興グループ)では、令和3年度実施事業や令和4年度事業について委員の皆さんから提案や意見を求めた。ガイド等育成事業では、若い高校生や大学生及び文化財の氏子の皆さんにも参加してもらった方が良いという意見や、文化財公開事業ではその様子を映像で残しておくのもよいのではないかという意見が出された。事務局で検討した結果、ガイド等育成事業については、募集をかける際益子芳星高校の生徒にも声掛けを行うほか、文化財公開事業ボランティアスタッフにおいても協力していただけるよう学校側に働きかけることになった。また、文化財公開の様子は映像で残しておくこととした。</p> <p>①第1回かさまこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(観光振興グループ)では、令和3年度実施事業について委員の皆さんから提案や意見を求めた。着地型旅行商品開発事業では、地元の人が案内することとなるので、文化振興グループの委員との連携を図ることが必要と、プロモーション動画では、歴史文化だけでなく観光分野に力点を置いてもらいたいなどの意見が出された。今後、プロポーザル審査を行い、契約を結んだ業者と綿密な打ち合わせを行い、委員の皆さんの要望になるべく答えられるようにしていきたいと考えている。</p> <p>①日本遺産認定記念切手については、記念切手500枚中、栃木県内(益子・真岡管内)で200枚販売するよう割り振られたが、日本遺産のPRも兼ねて役場庁舎ホールや公民館での掲示等で宣伝した結果、完売した。</p> <p>①日本遺産事業プロポーザル審査について、ガイド・コーディネーター育成講習会は㈱JTB宇都宮支店に、着地型旅行商品開発・ラーニングパッケージは㈱近畿日本ツーリスト関東宇都宮支店にそれぞれ業務委託することになった。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①日本遺産事業プロポーザル審査について、ストーリーブック制作・プロモーション動画制作は㈱JTB宇都宮支店に、日本遺産関連商品開発促進業務は㈱キースタッフにそれぞれ業務委託することになった。これで日本遺産関連事業のプロポーザル審査業務委託関係は終了した。今後も各事業ごとに決定業者と綿密な打ち合わせを行い、今年度の事業を進めていくと同時に次年度以降いかに地域活性化につなげていくか協議していく。</p> <p>①日本遺産構成文化財所有者との「日本遺産推進に係る意見交換会」の中で、協議会委員を交えた意見交換会を設けてほしいと、事業費が地元に着るようにしてほしいとの意見が出されたので、次年度以降日本遺産の計画段階での意見聴取や地元事業者への一部請負が可能であるか等の検討を進めていく。</p> <p>①第2回かさまこ日本遺産推進ワーキンググループ会議(文化振興及び観光振興グループ)では令和3年度実施事業の進捗状況や令和4年度事業について協議した。委員の皆さんから文化財公開事業の開催年や「かさまこ」という名称の商標登録の申請などの意見が出され、検討していくこととなった。</p> <p>③かさまこ文化財公開事業は、ボランティア(実人数28名、延べ人数40名)の協力のもと、滞りなく実施することができた。拝観料1ヶ所300円、地域別共通入場券1,000円で開催したが、総売上は196,200円、来訪者(実人数286名、延べ人数986名)だった。</p> <p>③日本遺産かさまこセミナーは、テーマごとに古代・中世・民藝の3回に分けて実施し、合計89名参加した。</p> <p>③日本遺産サミットでは、各地の参考となる取り組みを幅広く聞くことができたので、情報収集する点では参加して良かったと思われるが、PRするという点では課題が残った。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①第2回かさまこ日本遺産活性化協議会では、令和3年度事業進捗状況の報告並びに令和4年度事業計画(案)について協議を行った。ガイド育成については、現在参加中のガイドの活躍できる場の提供、有料化ガイド組織の実現、次の世代へつなげられるような育成を進めるための方策や、KPIの設置及びクリアするための事業提案を事業者に求める必要があるという意見が出た。</p> <p>日本遺産活用計画としては、ガイド育成分野は次年度事業で受講生の得意分野を生かした個別のガイディングメニューを作成する予定、日本遺産関連商品開発については、今年度試作品が10組分披露されたので、商品化に向けて進めていくほか、別の試作品についても制作できるよう図っていくが、日本遺産の商品であるという基準作りが必要である。子ども版ストーリーブックは、町内小中学校、中央公民館図書室等町内施設、県内関係施設・団体、協議会委員等及びPRイベント等で配布予定。プロモーション動画は、30分版はデジタルサイネージで放映、15分版はYoutube等で公開、3分版はSNS等で公開予定。ブランド力強化のための動画制作及び番組放送(BS-TBS)は、15分版はデジタルサイネージで放映、3分版はYoutube等で公開予定。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続1人 B改善・見直し1人 C廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・日本遺産に関して様々な取り組みがなされ、成果を得た。たとえばより多くの方に知っていただくために行なわれた文化財の公開事業には、参加者が多かった。但し、かさましこセミナーは、3回とも和室で計89名の参加。内容がよかったのもったいなかった。</p> <p>・あらゆる媒体を使用し、日本遺産「かさましこ」をアピールするとともに、笠間市・益子町に訪問したくなるような環境整備を推進して下さい。</p>	<p>内部検証および外部検証結果を踏まえ、かさましこ日本遺産活性化協議会で実施している「人材育成/普及促進/情報コンテンツ作成」の事業を軸とした、文化観光の推進を図っていきたいと考える。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	農政課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり			
施策	風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならでは」の地域づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	1	現状値	1	地区
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な 取組 内容	4月		未実施			
	5月	④篠添地区(小宅東)現地調査 ④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動	未実施			
	6月		④6/17 小埜芳秀先生との話し合い ④6/21 小宅東地元関係地権者(1名)にランドスケープ事業について概要を説明した。 ④大郷戸ダム周辺の草刈り実施			
	7月		④小宅・大平里山景観ツアー及びワークショップの企画			
	8月	④小宅・大平里山景観ツアー及びワークショップの準備 ④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動	④8/24 小宅・大平里山景観ツアーの内容案を企画 Ⅰ生物・野鳥観察Ⅱ黒石の説明Ⅲ里山昔話Ⅳ安善寺の歴史について、地元の方から説明をいただくことで提案した。			
	9月		④小宅・大平里山景観ツアー及びワークショップ声掛け・勧誘			
	10月		④10/10小宅・大平里山景観ツアー及びワークショップの実施 ④10/12～10/19大郷戸ダム周辺緑地の草刈り			
	11月	④小宅・大平里山景観ツアー及びワークショップの開催 ④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動	④11/19大郷戸ダム草刈り箇所の確認			
	12月					
	1月		④1/20 大郷戸ダム不法投棄物(ボート)回収			
	2月	④大郷戸ダム周辺緑地の保全活動				
	3月		②大郷戸ダムトイレ詰り処理			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>④小埜先生より、篠添地区(小宅小学校南側水田地帯)の景観保全について、推進いただきたい旨の話があった。本地区の農地は耕作条件の利便性が低く、耕作放棄地が増加傾向にある。景観保全活動については、地権者や耕作者からの協力が必要。まずは区域を設定し、区域内の地目・地権者・耕作者等の調査を行い、自治会長や地元農業委員、耕作者へ環境保全活動の必要性を伝えていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>④小宅・大平里山景観ツアー及びワークショップの企画、立案、呼びかけを行った。(関係者:、小埜先生、八色先生、地元協力者、建設課、農政課)残念ながらコロナ禍のため県外者や飲食を伴う企画は行わないこととなった。ツアーの内容は里山活用の歴史紹介、自然(植物、生物、野鳥)説明、世間遺産黒石の説明、安善寺物語紹介、安善寺文化財説明、地魚すくい体験など。コロナ禍で参加者が見込めないため、小中学生の保護者へ呼びかけを行っている。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>④建設課と連携し、ラウンドスเคープ事業推進のため、小宅・大平地区において景観ツアーを実施した。参加者は小学生が多かったため、子供向けのやさしい説明が求められた。子供たちは地域の植物や水生生物をまじかに見ることができ、有意義な体験となった。今後は何気ない里山が、益子町の大きな資産でもあることを伝える必要がある。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>④小宅・大平地区の景観保全について、大平地区は継続して環境保全活動を推進している。小宅地区は令和4年度から小宅西・舟橋両自治会が環境保全会を立ち上げ活動を推進する予定である。小宅東自治会は今のところ環境保全活動には期待できない状況である。今後は、小宅東自治会の中から環境保全に関心のあるリーダーを探し、環境保全会組織立ち上げの働きかけをする必要がある。 大郷戸ダムの景観保全については、引き続きシルバー人材センターへ委託し、ダム周辺緑地の保全に努める必要がある。また、ダムを活用した地域振興については、ダム本体の管理者である益子町土地改良区と連携して進める必要がある。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・美しい里山も人の手が入らないと、雑草や水の生い茂る荒れ地となってしまう。小宅古墳群周辺は関係の皆様方のおかげで美しい景観となり、それが維持されている。他の場所でも草刈りをしたり、不法投棄をさせない町としての活動をこれからも継続していただきたいです。</p> <p>・地域の景観保全活動は、関心あるリーダーが必要であるため、地域の情報を得てリーダーを確保して推進して下さい。</p>	<p>④小宅・大平地区のランドスケープの推進については、地元の環境保全会が主体となって進めているところであるが、小宅東自治会が不参加の状況にある。当自治会の自治会長や重鎮の方に、多面的機能支交代付金事業の導入の働きかけをしたが、参加の見通しはたっていない。引き続き働きかけをする必要がある。</p> <p>大郷戸ダムの景観保全やダムを活用した地域振興についても、引き続き土地改良区と連携しながら進めていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり			
施策	風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」地域づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	1	現状値	1	地区
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①役場周辺土地区画整理事業 総会の開催、役員会開催	①第8回役員会(総会について、監査4/13) ●計画実施可能な地区との調整(4/7、13、22)			
	5月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画策定	①第4回総会(定期総会)5/16 ②第1回空家等対策協議会(5/19) ●計画実施可能な地区との調整(5/7、22、26)			
	6月	●ランドスケープ計画の整備を進めるにあたり、地域代表者による推進委員会の設置要綱の策定	①R4補助金ヒアリング 6/2 第9回役員会(業務委託、仮換地(案)について 6/24 ②都市構造再編集中支援事業のヒアリング(6/2)第3回空家等対策検討会議(6/23) ●計画実施可能な地区との調整(6/10、17、18)			
	7月	①役場周辺土地区画整理事業 業務委託入札、役員会開催	①交差点協議(7/2)、本庁河川課協議(7/8) 水路詳細設計業務委託入札(7/29) ●計画実施可能な地区との調整(7/1、13、14、28)			
	8月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画策定	①橋梁打合せ(8/2)、換地打合せ(8/4) 事業計画変更本庁協議(8/23) 第10回役員会(換地案説明会について等)(8/23) ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(8/3) ●計画地区現地調査(8/4、12、24)			
	9月	●ランドスケープ計画の整備を進めるにあたり、地域代表者による推進委員会の立ち上げ	①真岡土木河川協議8/22 ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(9/22) 空家等対策計画の打合せ(9/15) ●推進委員、アドバイザーの選任			
	10月	①役場周辺土地区画整理事業 仮換地(案)提示、役員会開催	①仮換地(案)説明会(10/1-3)、欠席者説明(10/12,13,15,19,22,26) R3補助金進行管理ヒアリング(10/11) 真岡土木事務所(橋梁等)打合せ(10/14) 県無電柱化推進協議会WG(10/25) ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(10/22) 空家等対策検討会議(10/14) ●ランドスケープ計画推進委員会(10/7)小宅地区WS(10/10)益子地区WS(10/17)田野地区WS(10/23)			
	11月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画策定	①河川測量業務委託発注(11/6) 真岡土木事務所河川協議(11/17) 仮換地(案)説明(11/22)、第11回役員会(11/11) ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(11/25) 第2回空家等対策協議会(11/15) ●上大羽地区意見交換会(11/27)			
	12月	●ランドスケープ計画推進事業 推進委員会設立、ワークショップ等開催	①本庁河川課協議(12/1)、補助金進行管理ヒアリング(12/1) 事業費借入(12/15) 東電無電柱化打合せ(12/22)、県無電柱化推進協議会WG(12/23) ②都市構造再編集中支援事業のヒアリング(12/7)			
	1月	①役場周辺土地区画整理事業 仮換地(案)調整、役員会開催	①公共管理者負担金(公管金)役員説明(1/12) 真岡土木事務所 公管金打合せ(1/21) 仮換地(案)調整(1/19,21) ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(12/7) ●計画地区現地調査(1/24、27)			
	2月	②都市再生整備計画事業、空家等対策計画 都市再生整備計画作成準備、空家等対策計画策定	①仮換地(案)調整(2/1、2、4、7) 第12回役員会総会について(2/15) ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(2/15) ●計画地区現地調査(2/2、7、14)			
	3月	●ランドスケープ計画推進事業 ワークショップ等開催	①真岡土木事務所打合せ(公管金)3/8 第6回総会、第13回役員会(業者選考) (3/13) ②都市構造再編集中支援事業の打合せ(3/4、17) ●計画地区現地調査(3/4、24)			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①仮換地(案)を10月に組員へ提示できるように委託業者と協力して事業を進めていく。 上記以外の発注済みの業務についても、関係機関と協議を行いながら、工期内完了に向けて、事業を進めていく。</p> <p>②都市構造再編集中支援事業の令和4年度の概算要望に向けて、関係課と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画は令和4年3月策定に向けて、関係課と連携しながら、素案の検討を進めていく。</p> <p>●ランドスケープ計画は、推進委員会を設置し、関係者と協議しながら、計画実施可能な地区との調整を進めていく。計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①仮換地(案)を10月に組員へ提示し、意見等を聴取し、未同意者の対応をさらに行っていく。 発注済みの業務についても、関係機関と協議を行いながら、工期内完了に向けて、事業を進めていく。</p> <p>②都市構造再編集中支援事業の令和4年度の概算要望に向けて、関係機関と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画は令和4年3月策定に向けて、関係課と連携しながら、計画案の検討を進めていく。</p> <p>●ランドスケープ計画は、推進委員会を設置し、関係者と協議しながら、計画実施可能な地区との調整を進めていく。計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①仮換地(案)を10月に組員へ提示し意見があったものの調整を年度内に完了するよう進めていく。 発注済みの業務についても、関係機関と協議を行いながら、工期内完了に向けて、事業を進めていく。 地質調査業務、河川測量業務が11月末に完了した。</p> <p>②都市構造再編集中支援事業の令和4年度の概算要望に向けて、関係機関と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画は令和4年3月策定に向けて、関係課と連携しながら、計画案の検討を進めていく。</p> <p>●ランドスケープ計画は、推進委員会を設置し、関係者と協議しながら、計画実施可能な地区との調整を進めていく。計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①国の補正予算で来年度実施予定の事業の一部を確保できたため、補正予算を編成し4月早々に発注する。 仮換地(案)の調整を引き続き実施していく。 また、R4の業務委託・工事については、順次発注し工期内に完了するよう進めていく。</p> <p>②都市構造再編集中支援事業の令和4年度の概算要望に向けて、関係機関と協議の上、都市再生整備計画の作成を進めていく。 空家等対策計画は令和4年3月策定し、空家等対策協議会と連携しながら、計画を進めていく。</p> <p>●ランドスケープ計画は、推進委員会を設置し、関係者と協議しながら、計画実施可能な地区との調整を進めていく。計画に対する地域の人たちの理解を得ることが重要なため、ワークショップ等を通して、理解を深めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・ランドスケープ計画を進めるにあたり、構想と土地所有者や住んでいる方々の気持ちとの間を繋ぐのは、とても難しいことと思う。理解を深める話し合いを今後ともお願いいたします。</p> <p>・ランドスケープ計画は推進委員会義が開かれたということで、今後関係部者と協議し理解を得て推進して下さい。</p>	<p>②ワークショップ等を通して、土地所有者や住んでいる方々、関係者の理解を得ながら、ランドスケープ計画を進めていきます。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	生涯学習課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	ランドスケープデザインと連携した地域づくり			
施策	風景・デザイン・利便性が調和する「ましこならではの」地域づくり	進捗状況	100%			
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	ランドスケープ計画を手掛ける地区	本年度目標値	1	現状値	1	地区
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
①年間計画(スケジュール・工程)			②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月		②図書館基本計画策定委員会(視察:須賀川市、白河市図書館)4/15 図書館講演会4/17 図書館ワークショップ4/17			
	5月	②図書館講演会 図書館基本計画策定委員会 図書館ワークショップ	②図書館基本計画策定委員会(第4回)5/20			
	6月		②図書館ワークショップ6/5 図書館基本計画策定委員会(視察:筑西市、結城市、笠間市図書館)6/29			
	7月		②図書館講演会7/10 図書館基本計画策定委員会(第5回)7/20			
	8月	②図書館基本計画策定委員会 図書館ワークショップ 図書館アンケート	②図書館基本計画策定委員会(第6回)8/27			
	9月		未実施			
	10月		②図書館基本計画策定委員会(第7回)10/5 図書館基本計画策定委員会代表者会議10/13,22			
	11月	②図書館基本計画策定委員会 図書館ワークショップ	②図書館基本計画策定委員会(第8回)11/17 図書館ワークショップ11/13			
	12月		未実施			
	1月		未実施			
	2月	②図書館講演会	②図書館基本計画(案)パブリックコメント)			
	3月		②図書システムの更新 ②図書館基本計画策定委員会(第9回)3/17 ②移動図書館車納入3/15			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第 1 四 半 期</p>	<p>②町民の意見を参考にしながら、図書館基本計画を作成する。須賀川市をはじめ委員と図書館視察を行った。今後も、アンケートやワークショップを行いながら図書館基本計画を作成する。</p>
<p style="text-align: center;">第 2 四 半 期</p>	<p>②第1四半期にワークショップ等を行い、住民の意見のとりまとめをおこなった。今後は、図書館基本計画のまとめにはいる。7/10開催の講演会では、須賀川市交流センター元センター長の佐久間氏を招き、交流センター設立から現在に至るまでの講演をいただき、第2部では、参加者と交流会を開催し多くの意見をいただいた。</p>
<p style="text-align: center;">第 3 四 半 期</p>	<p>②図書館基本計画(案)が出来上がり、今後、パブリックコメントを行う。</p>
<p style="text-align: center;">総 括 (第 4 四 半 期 含)</p>	<p>②益子町図書館基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施し、9人の方から30件のご意見をいただいた。今後、図書館建設に向け、参考になる意見も多かった。 ②図書システムを更新しホームページの開設等を行った。 ②移動図書館車が納品された。今後、運行スケジュールを決めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・図書館基本計画策定委員会が審議を重ねてきたことを尊重し、できないこと・できることを一般の人にもかわるようにはしていただきたいと思ひます。</p> <p>・2年余りかけて行つた図書館基本策定委員会の計画(案)に対してパブリックコメントを行ひ実施するかと思ひましたが、町長が新しくなり図書館建設は見直しとの事。残念ですが未来の子供たちの為ひに又移住したいと思へるような図書館の検討をお願ひ致します。</p>	<p>令和4年3月にパブリックコメントを実施しましたが、新設ありきではなく既存の施設の活用も含め再検討することとなつたが、図書館基本計画策定委員会で検討した内容を尊重し計画の見直しを行う。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進			
施策	安全に配慮した快適に移動できる道路の整備	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	11まちづくり			
KPI	重要通学路の安全・安心な道路の整備率	本年度目標値	63.4	現状値	65.0	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道18号線用地買収		①補助金申請を行う ②補助金申請を行う ③補助金申請を行う		
	5月	②町道170号線バイパス整備事業 設計業務発注		①町道18号用地買収等【交渉開始】 ②町道170号線設計業務【発注】 ③百目鬼橋設計業務【打合せ等実施】		
	6月	③橋梁補修事業 百目鬼橋設計業務の完成		①町道18号用地買収等【契約5件】【完了2件】、R4年度補助金要望実施 ②町道170号線設計業務【入札・契約】、R4年度補助金要望実施 ③百目鬼橋設計業務【完成】、R4年度補助金要望実施		
	7月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道18号線用地買収等の完了、町道18号線工事の発注、町道155号線の事業説明の実施		①町道18号用地買収等【完了1件】 ②町道170号線設計業務【打合せ等実施】		
	8月	②町道170号線バイパス整備事業 修正設計業務の管理監督		①町道18号用地買収等【完了2件】 ②町道170号線設計業務【打合せ等実施】 ③百目鬼橋・徒士橋補修 積算業務【発注】		
	9月	③橋梁補修事業 百目鬼橋・徒士橋補修工事発注		①町道18号用地買収等【契約1件】【完了1件】、工事発注、町道155号線事業説明実施 ②町道170号線設計業務【完成】 ③百目鬼橋・徒士橋補修 積算業務【完了】、工事発注		
	10月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道18号線工事の管理監督、町道155号線設計業務の発注		①町道18号線工事【進捗率4%(予定4%)】		
	11月	②町道170号線バイパス整備事業 修正設計業務の完成、設計説明会実施		①町道18号線工事【進捗率18%(予定16%)】、町道155号線のR4補助金 国へ要望活動実施 ②町道170号線設計説明会実施【関係者10名】 ③百目鬼橋補修工事【進捗率6%(予定6%)】、徒士橋補修工事【進捗率2%(予定2%)】		
	12月	③橋梁補修事業 百目鬼橋・徒士橋補修工事の管理監督		①町道18号線工事【進捗率35%(予定47%)】 ②町道170号線設計説明個別に実施【関係者5名】 ③百目鬼橋補修工事【進捗率13%(予定13%)】、徒士橋補修工事【進捗率4%(予定4%)】		
	1月	①町道18号線、町道155号線通学路整備事業 町道18号線工事の完成、町道155号線設計業務の完成		①町道18号線工事【進捗率54%(予定63%)】 ③百目鬼橋補修工事【進捗率84%(予定84%)】、徒士橋補修工事【進捗率89%(予定89%)】		
	2月	③橋梁補修事業 百目鬼橋・徒士橋補修工事の完成		①町道18号線工事【進捗率60%(予定96%)】 ③百目鬼橋補修工事【進捗率97%(予定97%)】、徒士橋補修工事【進捗率98%(予定92%)】		
	3月			①町道18号線工事【進捗率70%(予定100%)】 ③百目鬼橋補修工事完成、徒士橋補修工事完成		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①町道18号線に対する補助金の交付決定額は十分であったため、計画通りの事業を行う。用地買収等の契約は順調であり、現時点での契約件数は8件中7件となり、うち買収等完了件数は3件となった。次期四半期は残り1件の契約および工事の発注を目指す。</p> <p>②町道170号線に対する補助金の交付決定額は不十分(要望額の10%以下)であったため、当初予定していた用地測量はR4年度に行うものとし、設計が決定していない区間の設計業務を着手するものとした。</p> <p>③橋梁補修事業に対する補助金の交付決定額は十分であったため、計画通りの事業を行う。百目鬼橋の設計業務は予定通り完成したため、次期四半期は工事発注を目指す。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①町道18号線の用地買収等の契約件数は8件全て完了し、予定通り工事発注を行った。町道155号線の事業説明を予定通り実施した。次期四半期は町道155号線のR4補助金が満額もらえるよう国および県に要望を実施する。</p> <p>②設計業務が予定より早く完了した。次期四半期は関係者向け説明会を実施する。また、不足分の補助金について国および県に要望を実施する。</p> <p>③工事の積算業務を完了し、予定通り工事発注を行った。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①町道18号線工事について、工事自体は順調であるが、支障となる電柱の移転に時間を要しており、繰越となる見込みである。町道155号線のR4補助金について国に要望活動を実施した。補助金を有効活用するため、設計業務についてはR4年度に実施する。</p> <p>②町道170号線設計説明を関係者15名に実施し完了した。国・県への要望の結果、不足の補助金について配分されることとなったため、次期四半期は用地測量業務の発注を目指す。</p> <p>③百目鬼橋・徒士橋補修工事は予定通りの進捗となっているためこのまま年度内完了を目指す。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①町道18号線工事については支障電柱の移転完了に時間を要したため、3月末で進捗率70%となった。繰越によりR4年6月完成を目指す。町道155号線についてはR4年度に確保予定の補助金を活用することにより実施する。</p> <p>②町道170号線バイパス整備事業は設計業務を完了し、関係者全員に説明を行い承諾を得た。追加の補助金が3月に交付決定されたため、R4年度当初において用地測量業務を実施する。</p> <p>③百目鬼橋・徒士橋補修工事は予定通り完成した。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・なし。</p> <p>・限られた財源の中、歩行者や自転車を優先した安全・安心な道路の整備を推進して下さい。</p>	<p>国庫補助金や交付金を適切に活用し、歩行者や自転車が安心・安全に通行できる道路整備を進めていきます。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進			
施策	下水道の整備・更新、事業の健全経営化	進捗状況	98%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	6水とトイレ	11まちづくり		
KPI	下水道整備率(町が目指しているもの)	本年度目標値	84	現状値	82.6	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な取組内容	4月	①下水道築造事業(未普及解消) 繰越工事の管理監督及び今年度工事に係る関係機関との調整並びに設計図書準備		①事業執行のための財源確保を行う。(4/30交付金申請) ②事業執行のための財源確保を行う。(4/30交付金申請) 増設工事(機電)の協定締結(4/30議会承認) ③過年度実施内容の確認及び今年度の業務内容の確認(4/14)		
	5月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) ・増設工事(土建)の工程管理及び増設工事(機電)の協定締結 ・沈砂池ポンプ棟基本設計条件の決定		①繰越工事の立会確認(適宜)、関係機関との調整(5/7,14,21) ②増設工事(土建)定例工程会議(5/19)、沈砂池ポンプ棟設計打合せ(5/25条件の洗い出し)		
	6月	③公営企業会計移行事業 発注に向けた仕様書の精査及び業務発注		①繰越工事の立会確認(適宜)、R4交付金ヒアリング(6/1)、設計図書準備(6/14積算に係る特別調査実施) ②増設工事(土建)定例工程会議(6/16)、沈砂池ポンプ棟設計打合せ(6/25条件の決定) ③仕様書の精査及び業務発注		
	7月	①下水道築造事業(未普及解消) ・今年度工事に係る関係者へ事業説明及び工事発注 ・繰越工事実施区域における供用開始及び受益者負担金賦課の告示		①受益者負担金賦課区域告示(7/5) ②増設工事(土建)定例工程会議(7/21) ③業務契約締結(7/12)、初回打合せ(7/20)		
	8月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) ・増設工事(土建)及び増設工事(機電)の工程管理 ・沈砂池ポンプ棟実施設計完了		②増設工事(土建)定例工程会議(8/18)		
	9月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施 ④⑤下水道周知促進事業 周知促進用の新たなデザインマンホールを製作するためのデザインを選定		①下水道供用開始告示(9/1)、工事に係る関係者事業説明(9/22-30) ②増設工事(土建)定例工程会議(9/15)、沈砂池ポンプ棟実施設計完了(9/30)		
	10月	①下水道築造事業(未普及解消) 今年度工事に係る管理監督 ②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(土建)及び増設工事(機電)の工程管理		①築造工事定例工程会議(10/15)、交付金進行管理ヒアリング(10/5)、管渠実施設計打合せ(10/13) ②増設工事(土建)定例工程会議(10/13) ④デザインマンホールに関する打合せ(10/29)		
	11月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施 ④⑤下水道周知促進事業 ・周知促進用の新たなデザインマンホールを製作するためのデザインを選定		①築造工事定例工程会議(11/24)、交付金進行管理ヒアリング(11/30) ②増設工事(土建)定例工程会議(11/16) ⑤近隣市町との意見交換(11/19)		
	12月	④⑤下水道周知促進事業 ・水洗化促進のため排水設備工事に対する近隣市町助成状況を確認し、方策を検討する		①築造工事定例工程会議(12/16)、管渠実施設計打合せ(12/24) ②増設工事(土建)定例工程会議(12/15) ③業務打合せ(12/16)		
	1月	①下水道築造事業(未普及解消) 今年度工事に係る管理監督(工事完了)		①築造工事定例工程会議(1/18) ②増設工事(土建)定例工程会議(1/19)		
	2月	②下水処理場整備事業(汚泥処理棟増設及び沈砂池ポンプ棟新設) 増設工事(土建)及び増設工事(機電)の工程管理		①築造工事定例工程会議(2/15)、繰越工事予算措置(2/15議会) ②増設工事(土建)定例工程会議(2/16)、増設工事(土建)変更協定仮締結(2/17)		
	3月	③公営企業会計移行事業 仕様書に基づく業務の実施(R3予定分完了)		②増設工事(土建)変更協定締結(3/4議会承認)、増設工事(土建)(機電)定例工程会議(3/16) ③業務完了前報告(3/9)		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①繰越工事が概ね完了したため、今年度工事の発注を次期四半期で行い、年度内の工事完了を目標に事業を進めていく。</p> <p>②汚泥処理棟増設に係る協定については、締結が予定どおり完了した。当該工事発注については、日本下水道事業団で実施しているが、定期工程会議などで進捗管理を引き続き行う。また、沈砂池ポンプ棟の設計業務については基本設計条件が決定したので、引き続き詳細設計を進めていく。</p> <p>③計画とおり実施できた。次期四半期で業務の履行業者が決定するので今年度予定している内容が達成できるよう進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①受益者負担金賦課区域の告示及び下水道供用開始の告示を予定どおり行えた。今年度工事の発注を計画どおり実施できた。次期四半期から本格的に工事が実施していくため、工程管理をきちんと行い、年度内工事完了を目標に事業を進めていく。</p> <p>②汚泥処理棟増設工事の監理については、日本下水道事業団で実施しているが、定期工程会議などで進捗管理を引き続き行う。また、沈砂池ポンプ棟の設計業務については予定通り完了した。</p> <p>③業務の履行業者が決定し、今後の業務の進め方の確認を行った。今年度予定している内容が達成できるよう引き続き進めていく。</p> <p>④コロナ禍の状況を受けデザイン製作の事前打合せが延期となってしまった。次期四半期早々に打合せを行い、事業を進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①毎月実施している工程会議を踏まえて工程管理を行っているが、コロナ禍による一部資材の納期が未定となっているため、繰越が必要となる見通しである。繰越に合わせて交付金の繰越手続きを行う。</p> <p>②増設工事については、コロナ禍により繰越が必要となる見通しである。</p> <p>③業務の進捗状況について確認を行った。引き続き事業を進めていく。</p> <p>④デザイン製作の事前打合せを行い、契約に向けて仕様の整理を行う。年内に仕様書を作成し、契約締結を予定していたが、困難であった。次期四半期早々に契約を締結し、事業を進めていく。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①コロナ禍による資材の一部納入遅れに伴い、一部の工事が繰越となった。納入時期については、未定であったが、4月上旬までに納入可能であるとの確認できた。繰越工事が速やかに完了できるよう引き続き工程管理を行う。また、繰越工事を含めた今年度整備した区域の使用開始時期については、5月1日付けを予定している。</p> <p>②増設工事(土建)については、築造工事と同様に繰越となるが、7月末までに現場完了予定である。また、増設工事(機電)については、3月の定例工程会議において、各施工業者からマスター工程(基本工程)が提示され、協定期間内(R4年度末)での工事完了を確認した。</p> <p>③今年度予定した業務内容について、予定どおり完了した。引き続き次年度も業務を継続して実施していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続1人 B改善・見直し1人 C廃止・終了</p> <p>②意見・提言 A 環境を守るために今後ともよろしくお願ひします。デザインマンホールに目を向ける人がいます。“ましこ”のアピールになるとお願ひします。</p> <p>B 生活基盤の重要な下水道、計画的な整備と適切な維持管理を行い、事業運営の効率化・健全化を図って下さい。又改善点・見直しについては、下水道が設置されている地域の接続率のアップを図って下さい。</p>	<p>引き続き計画的に下水道の整備を行い、適切な維持管理をしていきます。</p> <p>事業運営については、効率的に、かつ健全な運営ができるよう努めていきます。</p> <p>水洗化の向上に向けて引き続き接続促進を図っていきます。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】

		課局名	建設課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来ヘレガシーをつくる	政策	快適で便利に暮らせる基盤づくりと土地利用の推進			
施策	地籍調査の推進と土地の適正かつ有効な活用	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	地籍調査進捗率	本年度目標値	21.3	現状値	22.1	%
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①上大羽Ⅰ地区森林管理署(国有林隣接)協議		①上大羽Ⅰ地区国有林協議実施。山本Ⅹ～Ⅺ地区C～H工程成果書類の精査、修正。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区C～FⅡ工程成果書類の精査、修正。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区事業区域検討、測量業務委託の積算。		
	5月	山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区地籍図地籍簿作成業務委託発注 前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区測量業務委託発注		①山本Ⅹ～Ⅺ地区C～H工程成果書類の精査、修正、認証請求書類の作成。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区C～FⅡ工程成果書類の精査、修正及びG、H工程業務委託の積算。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区事業区域検討、測量業務委託の積算。		
	6月	山本Ⅹ～Ⅺ地区認証請求書仮提出		①山本Ⅹ、Ⅺ地区認証請求書の仮提出。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区C～FⅡ工程成果書類の精査、修正及びG、H工程業務委託の発注。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区測量業務委託の発注。大沢Ⅰ地区R123の公図と現況のズレを解消すべく土木事務所と協議。		
	7月	①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区C工程選点協議及び工程管理 令和4年度事業国庫補助要望ヒアリング		①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、C2工程選点協議実施。令和4年度事業(新規地区:前沢Ⅲ、上大羽Ⅱ、大沢Ⅲ 継続地区:前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ)国庫補助要望資料提出。		
	8月	前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区地権者説明会 山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区関係機関協議 法務局(公図不整合)、財務事務所協議(国有地、白地)、土木事務所協議(国県道、河川、砂防ダム等)		①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、C3工程現地点検実施。E5工程相続関係調査実施。事業説明通知発送。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、公図不整合部分を協議(法務局)。		
	9月	山本Ⅹ～Ⅺ地区認証請求書提出		①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、C4～C6工程点検、E5工程相続関係調査実施。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、国有地及び白地協議(財務事務所)、国有林伐採協議(日光森林管理署、町環境課)実施。山本Ⅺ地区認証請求書を仮提出。		
	10月	①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区C工程検査		①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、C7工程点検、C8工程実施者検査実施。E7工程一筆地調査開始。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、公図不整合部分を法務局と協議実施。		
	11月	前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区FⅠ工程選点協議及び工程管理 前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区E工程(境界確認)実施		①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、C9工程認証者検査、E7工程一筆地調査、FⅠ2工程選点協議実施。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、農地転用部分を農業委員会と協議実施。		
	12月	山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区農業委員会(農転)協議及び必要に応じ字変更手続き(議会)		①前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、FⅠ2工程現地点検、E7工程一筆地調査実施。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、G2、3工程照合点検及び現地点検実施。国有林隣接部分の測量成果提出(山本ⅩⅢ地区)。山本Ⅹ、Ⅺ地区について、認証請求書を正式に提出。		
	1月	①山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区地籍図案、地籍簿案の閲覧(20日間)		①山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、G2～3工程点検、G4工程実施者検査、G5工程認証者検査、H1～3工程点検、H4工程実施者検査実施。H5工程(閲覧)開始。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、FⅠ2工程選点修正協議実施。		
	2月	前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区E、FⅠ、FⅡ工程管理及び検査 山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区G、H工程管理及び検査		①山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、H5工程(閲覧)終了。山本Ⅰ地区の国有林隣接部分の閲覧書について、日光森林管理署と協議。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、FⅠ3～6工程点検、FⅠ7工程実施者検査、FⅠ8工程認証者検査実施。		
	3月	山本Ⅹ～Ⅺ地区地籍図地籍簿を法務局に送付(登記)		①前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区の国県道、河川、砂防ダム関係閲覧書について、真岡土木事務所と協議。山本ⅩⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、H7～8工程点検、H9工程実施者検査、H10工程認証者検査実施。前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区について、FⅠ3～6工程点検、FⅠ7工程実施者検査、FⅠ8工程認証者検査、FⅡ11～13、22～23工程点検、FⅡ24工程実施者検査、FⅡ25工程認証者検査実施。山本Ⅺ地区について、認証請求書を正式に提出。		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①3年目の事業である山本X～Ⅻ地区については、6月末までに県へ認証請求書を仮提出する必要があり、山本X、Ⅺ地区は計画通り提出済だが、山本Ⅻ地区は書類の修正に時間を要しており未提出である。書類が整いしだい提出する予定。</p> <p>2年目の事業の山本XⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区地籍図地籍簿作成業務委託、及び1年目の事業の前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区測量業務委託については、計画通り測量業者に発注済みであり、引き続き適正な工程管理、検査に努める。また、公図と現況の不整合箇所について、法務局等関係者と協議を行い、それらの解消に努める必要があるが、大沢Ⅰ地区のR123号付近の案件は既に地図訂正を真岡土木事務所に依頼済みであり、他の案件も必要書類が整いしだい協議を実施する。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①3年目の事業である山本X～Ⅻ地区について、県に認証請求書を仮提出済みであり、県から了承いただき国に提出する。</p> <p>2年目の事業である山本XⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、公図と現況が不整合の土地は関係機関との協議を実施しており、計画どおり進んでいる。</p> <p>1年目の事業の前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区については、計画通り関係機関との協議を実施中であり、また、C、E工程についても計画どおり実施中である。事業説明会については、新型コロナウイルス感染防止のため開催は中止し、地権者には説明書類を送付。10月末から始まる一筆地調査(境界確認)の際に、地権者に改めて事業の説明を行う。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①県に仮提出していた山本X、Ⅺ地区認証請求書について、県から了承されたため正式に県を通して国に提出済みであります。山本Ⅻ地区認証請求書は県に仮提出済みではありますが、引き続き審査中であります。</p> <p>山本XⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、関係機関との協議を実施しており、閲覧(1～2月)に向け計画通り進んでおります。</p> <p>前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区については、C工程の基準点設置が完了し、町、県とも完了検査実施済みであります。また、E工程の一筆地調査(境界確認)は10月末から開始し12月末までに一通り終了しましたが、一部立会いできなかった方については、日程調整のうえ1月中には完了する予定。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 合)</p>	<p>①県に仮提出していた山本Ⅻ地区認証請求書について、県から了承されたため正式に県を通して国に提出済みあります。また、国に提出していた山本X、Ⅺ地区認証請求書については、県から認証済の連絡があり、正式通知後速やかに法務局に登録するため、準備中であります。</p> <p>山本XⅢ、前沢Ⅰ、大沢Ⅰ地区について、閲覧が滞りなく終了したため、認証請求に向け準備中であります。</p> <p>前沢Ⅱ、上大羽Ⅰ、大沢Ⅱ地区については、C～FⅠ工程の基準点設置及びE工程の一筆地調査、FⅡ工程の一筆地測量が完了し、計画通り進んでおります。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・地籍者が不在だったり、代替り・土地状況の悪化など大変なことが多いでしょうが、将来のためにがんばってください。</p> <p>・今後も計画的に地籍調査を推進して下さい。</p>	<p>第7次国土調査十箇年計画に基づき、地籍調査を推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	総務課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	地域イメージの形成と定着			
施策	「ましこならでは」という価値の確立	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	町公式SNSの年間「いいね！」数	本年度目標値	120	現状値	22	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月	①町ホームページリニューアル 町ホームページをリニューアルすることで、町公式フェイスブックの閲覧者数の増加を目指す。令和3年度でリニューアル完了できるように進めていく。 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へフェイスブックの投稿を依頼し、多くの記事を投稿してもらうことで、町の事業等の周知を図り「いいね！」の獲得を目指す。		①ホームページリニューアル 委託業者とホームページリニューアルの打合せ 町内IT関連業者にホームページ等について相談 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿9件】 町内IT関連業者に相談		
	5月			①ホームページリニューアル ホームページリニューアル関係事務を実施 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿21件】 カバー写真の変更【2回】 3名の益子町宣伝部長にフェイスブックのフォローを依頼		
	6月			①ホームページリニューアル 不要なページの洗い出しを各課へ依頼 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿17件】		
	7月			①ホームページリニューアル 不要なページの洗い出しを各課へ依頼 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿13件】		
	8月			①ホームページリニューアル 不要なページの洗い出しを各課へ依頼し、226ページ減らすことができた。 広報委員へのアンケート実施 ホームページ上で閲覧者へのアンケート実施 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿16件】		
	9月			①ホームページリニューアル ホームページ上で閲覧者へのアンケート実施 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿44件】		
	10月			①ホームページリニューアル ホームページ上で閲覧者へのアンケート実施 結果を広報委員会、ホームページ上で公表 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿54件】		
	11月			①ホームページリニューアル ホームページリニューアルイメージを作成 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿44件】		
	12月			①ホームページリニューアル ホームページリニューアルイメージを作成し意見聴取及び方向性の決裁をもらった。 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿39件】		
	1月			①ホームページリニューアル ホームページリニューアルの公開準備を進めた。 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿29件】		
	2月			①ホームページリニューアル ホームページリニューアルの公開準備を進めた。 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿34件】		
	3月			①ホームページリニューアル ホームページリニューアルの公開準備を進めた。コロナ禍のため操作研修会を開催せず、操作手順の動画を委託業者に作成してもらい職員に公開した。 ①町公式フェイスブックの投稿 各課へ記事の投稿を依頼【投稿22件】		

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
<p style="text-align: center;">第1 四半期</p>	<p>①町ホームページのリニューアルについては、令和3年度で完了できるように委託業者と打ち合わせを実施した。デザインリニューアルと階層整理を同時に進めていく。</p> <p>①町公式フェイスブックについては、各課へ記事の投稿をお願いし、昨年度より多くの投稿があった。また、3名の益子町宣伝部長にフォローのお願いをした。フェイスブックのカバー写真の変更もしたが「いいね！」数を多く獲得することはできなかった。引き続き、各課へ記事の投稿等をお願いして「いいね！」を獲得できるように努める。</p>
<p style="text-align: center;">第2 四半期</p>	<p>①町ホームページのリニューアルの準備として、各課へ不要なページの洗い出しを依頼し、226ページ減らすことができた。また、広報委員へのアンケート及びホームページ上で閲覧者へのアンケートを実施した。結果を集計し、広報委員へお知らせするとともにホームページ上で公表した。</p> <p>①町公式フェイスブックについては、各課へ記事の投稿をお願いし、昨年度より大幅に多くの投稿があった。しかし、「いいね！」数を多く獲得することはできなかった。引き続き、各課へ記事の投稿等をお願いして「いいね！」を獲得できるように努める。</p>
<p style="text-align: center;">第3 四半期</p>	<p>①ホームページ上で閲覧者へのアンケートを実施し、結果を広報委員へお知らせするとともにホームページ上で公表した。町ホームページのリニューアルイメージを作成し、画面確認を行いながら意見聴取及び方向性について決裁をもらった。</p> <p>①町公式フェイスブックについては、各課へ記事の投稿をお願いし、多くの投稿をしてもらっている。しかし、「いいね！」数を多く獲得するには至っていないため、引き続き、各課へ記事の投稿等をお願いして「いいね！」を獲得できるように努める。</p>
<p style="text-align: center;">総括 (第4 四半期 含)</p>	<p>①ホームページ上で閲覧者へのアンケートを実施し、結果を広報委員へお知らせするとともにホームページ上で公表した。町ホームページのリニューアルイメージを作成し、画面確認を行いながら意見聴取及び方向性について決裁をもらった。</p> <p>①町公式フェイスブックについては、各課へ記事の投稿をお願いし、多くの投稿をもらっている。しかし、「いいね！」数を多く獲得するには至っていないため、引き続き、各課へ記事の投稿等をお願いして「いいね！」を獲得できるように努める。また、今後、フェイスブックの「いいね！」の廃止が予定されていることに伴い、指標を「いいね！」の数から「フェイスブックのフォロー数」に変更してはどうかを考える。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・なし。</p> <p>・あらゆる媒体を活用し、「ましこならでは」の特性や資源に触れる機会を増やすと共に、FBのフォロー数を増やして下さい。</p>	<p>今後、フェイスブックの「いいね！」が「フォロー」に一本化される流れがある。また、令和3年度に町公式Instagramやツイッターのアカウントを開設した。それらを加えることにより、ユーザー層の偏りの解消につなげていきたいと考え、KPIの変更申請を行う。(町公式SNSの年間「いいね！」数(Facebook)→(町公式SNSの年間「フォロー」数) 町公式SNSのフォロー数を増やしていけるように、様々な媒体を活用して、益子の魅力を発信していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【計画・実施状況シート】		課局名	観光商工課			
基礎目標	4 地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる	政策	地域イメージの形成と定着			
施策	「ましこならではの」という価値の確立	進捗状況	100%			
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—			
KPI	町公式SNSの年間「いいね！」数	本年度目標値	120	現状値	22	人
KPI		本年度目標値		現状値		
KPI		本年度目標値		現状値		
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果		
主な 取組 内容	4月		②第8回土祭実行委員会「進捗報告・会期見直について」 4/14出席13名 ②ヒジサイノートNOTE.1発送(町内121・町外143)			
	5月	②土祭開催により地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する。 (土祭会期 5/22～10/24 メイン期間9/17～10/24) ↓ 変更 (土祭会期 5/22～11/14 メイン期間10/15～11/14)	②第9回土祭実行委員会「進捗報告・新型コロナウイルスの対応について」 5/12出席13名 ②土祭「安全祈願祭」鹿島神社 5/22出席12名 ②土祭KENMOKU広場(総合受付)入場者16名 ②土祭動画配信2本 ●7/30～8/7 コロナ警戒度レベルステージ【2】			
	6月		②第10回土祭実行委員会「進捗報告」 6/16出席12名 ②土祭KENMOKU広場(総合受付)入場者426名 ②土祭動画配信6本 ●7/30～8/7 コロナ警戒度レベルステージ【2.5】			
	7月		②第11回土祭実行委員会「進捗報告」 7/13出席13名 ②土祭KENMOKU広場(総合受付・アーカイブ展示)入場者475名 ・土祭動画配信2本 ②ヒジサイノートNOTE.2発送(町内148・町外146) ●7/30～8/7 コロナ警戒度レベルステージ【3】			
	8月	②土祭開催により地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する。 (会期 5/22～11/14 メイン期間10/15～11/14)	②第12回土祭実行委員会「進捗報告」 8/18書面決議 ②土祭KENMOKU広場(総合受付・アーカイブ展示)入場者383名 ・土祭動画配信1本 ②ヒジサイノートNOTE.3発送(町内148・町外149) ●8/8～9/30 コロナ警戒度レベルステージ【4】			
	9月		②第13回土祭実行委員会「進捗報告」 9/18出席13名 ②土祭KENMOKU広場(総合受付・アーカイブ展示)入場者437名 ・土祭動画配信2本 ②ヒジサイノートNOTE.4発送(町内150・町外148) ●8/8～9/30 コロナ警戒度レベルステージ【4】			
	10月		②土祭KENMOKU広場(総合受付・アーカイブ展示)入場者560名 ・土祭動画配信3本 ②ヒジサイノートNOTE.5発送(町内150・町外148) ②メディアツアー10/13 参加メディア5社 ●10/1～10/14ステージ【3】10/15～10/30ステージ【2】			
	11月	②土祭開催により地域の魅力を体験できる観光イベントの開催を支援する。 (会期 5/22～11/14 メイン期間10/15～11/14)	②土祭KENMOKU広場(総合受付・アーカイブ展示)入場者426名 ・土祭動画配信5本 ②イベント告知フライヤー新聞折込 5,500枚 ②クロージング土音楽祭11/14 391名 ●10/31～11/14 コロナ警戒度レベルステージ【1】			
	12月		②土祭実行委員会予算決算処理 ②総括報告書作成 ②経済波及効果測定 ③来場者アンケート・関係者アンケート集計 ・土祭動画配信1本			
	1月		②土祭実行委員会予算決算処理 ②総括報告書作成 ②経済波及効果測定 ③来場者アンケート・関係者アンケート集計			
	2月	②土祭開催により造成された地域の魅力を体験できるコト消費、ツーリズムを継続し実施していける体制づくりを推進する。(DMO他との調整)	②第14回土祭実行委員会[総括報告] 2/22 出席10名			
	3月		②土祭2021総括報告議会(全員協議会)報告 3/29 ②土祭2021総括報告町HP公開 3/30			

シート2【 四半期検証シート 】

③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等	
第1 四半期	<p>②土祭のコロナ禍における安心・安全な開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防対策「イベント開催におけるガイドライン」を定め、土祭参加者・関係者が行う感染予防対策・警戒度レベルに応じた企画開催の可否判断について明記し、ガイドラインに基づく安全な開催が出来ている。次期以降についても徹底したコロナ感染予防対策のもと開催をする。</p> <p>②土祭会期について、町民へのコロナワクチン接種時期と、その効果が現れるであろう時期を考慮し、会期の1か月延長(メイン期間の1か月後倒し)の対策をとり、より安全な開催にむけて検討を重ねていく。</p> <p>②土祭を通じた地域の魅力発信のため、コロナ禍における広報手段として、WEB・SNS・映像配信を中心とした媒体を活用した魅力発信を行っていく。土祭プロジェクトメンバーからの動画メッセージのほか、映像益子風景のドローン撮影や、日常風景のストーリー配信などにも注力していくことで、アフターコロナに向けて「益子に行ってみよう」という来訪意欲に繋げていく。</p>
第2 四半期	<p>②「イベント開催におけるガイドライン」を基準として、警戒度レベル3・4の期間(7/30～9/30)の対応として、開催延期15企画/内容変更による開催5企画/中止8企画となった。今後も、コロナ警戒度レベルステージに応じた感染予防対策の上、企画開催の可否について判断していく。</p> <p>②コロナ警戒度レベルステージが上がっていく中での土祭広報の手段として、町内向けにはポスター・チラシ・広報ましこ等を活用し、町外向けにWEBやSNSを中心とした情報発信を行った。今後については、メディアや新聞折り込み等を活用し、より広範囲に向けた広報を行い、メイン期間に向けた誘客促進につなげていく。</p> <p>②土祭を通じた地域資源の活用において、11プロジェクト(アート・地域づくり・陶芸手仕事・日本遺産セミナー・ランドスケープ・食育食文化・ツーリズム・住民プロジェクト・広報・空間会場・総務)それぞれが、益子ならではの日常型・体験型観光に向けた企画立案が積極的に計画されている。各企画において、コロナ感染予防対策を講じた上での実践マニュアルを作成し準備を進めていく。</p>
第3 四半期	<p>②メイン期間(10/15～11/14)におけるコロナ警戒度ステージは【2】感染注意【1】感染観察となり、ガイドラインに基づく企画開催基準により、催事・飲食イベントについても(一定の制限・感染予防対策を基本とし)開催することが出来た。</p> <p>②土祭会期中に開催された企画数は、常設展示14・イベント53・関連企画4、計71企画。過去の土祭企画と比較した特長として、今期イベント数が53企画実施され例年の約4倍の企画数となります。イベント企画増加の理由としては、観光戦略における戦術のひとつ「観光スタイルのシフト」としてモノ消費からコト消費への移行を意識的に実践したこと。もうひとつの理由として、コロナ禍において、参加者の個人情報や体調管理がしやすい定員数限定の参加型イベントを推進していく方向であったことが要因と考える。</p> <p>②土祭終了後においては、事務手続き(総括報告・決算報告・経済波及効果測定・アンケート集計等)を速やかに行い、それを考察し、今後の「ましこならでは」の観光戦略に繋げていけるよう、関係機関との連携・協力をしていく。</p> <p>②土祭ウェブサイト 訪問者数22,429人/ページビュー100,093件(土祭2018 訪問者11,952人/ページビュー83,799件) 土祭Facebook 投稿数190件 ページ読者(いいね!の数)4,303人/フォロワー4,318人(2018年4,304人からの引継ぎ) 土祭Instagram 投稿数225件 フォロワー数721人 (2018年323人からの引継ぎ)</p>
総括 (第4 四半期 含)	<p>②土祭2021総括 来場者数 25,909人(目標 26,000人) 経済波及効果 306百万円(目標 363百万円) 来場者満足度 とても満足59.8%/まあまあ満足39.3%/あまり満足しなかった0.9%/満足しなかった0.0%</p> <p>土祭2021会期は約6か月を設け、イベントを分散開催することで来場者の集中を避ける対策を講じた。5月～9月においてはコロナ禍の警戒度レベルが上昇傾向となり、企画主催者においても積極的に企画を開催することが出来ない状況となった。そのため来場者へ案内できる企画が全体的に少なく、会期の長期化による開催の難しさを感じた。来場できない方に向けては、ウェブサイトやSNSを活用した映像配信を積極的に行い、行動制限の緩和後の誘客に繋げていく広報を行った。</p> <p>土祭2021の組織体制については、11の部門がそれぞれの部門リーダーのもと、自主的な運営が行われ、地域資源を活かした学び・体験・展示などが開催された。土祭で磨き上げた地域資源を観光素材として継続的に提供できる実施体制づくりを整えていくことで、ウィズコロナ、アフターコロナにおいて未知の日常を提供する滞在型観光の事業化に向けての前進となる機会となった。住民参画の住民プロジェクトにおいても、19の自主企画が立ち上がり、益子ならではの個性あるプロジェクトが実施され、企画主催者の人材育成にも繋がった。このひとつひとつの活動においても、今後の滞在型観光地づくりの基盤となっていくことが期待できる。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
<p>総括</p>	<p>①継続性について Aこのまま継続2人 B改善・見直し1人 C廃止・終了</p> <p>②意見・提言 A コロナ禍の中、感染対策等行い土祭が行われ大きな経済効果をもたらしたことは大変良かったです。益子ならではの個性あるプロジェクトが実施され、企画主催者の人材育成に繋がったことは、今後の活動に大きく貢献すると考えます。</p> <p>B コロナ禍のなかで御苦勞があったと思います。場所や企画によっては活気があったのかもしれませんが、たまたま私の行ったところは淋しかったです。6カ月は長すぎると思うので、以前の日数くらいでよいと思います。</p>	<p>土祭については、実施方法、あり方等について、見直しも含めて検討していく。</p>